

令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 曾根東 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和3年6～7月に、5年生を対象として、「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。運動習慣は、学校のみでなく、家庭で運動と一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本年度、本市においては「体力・運動能力」についての調査は実施していません。

1. 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

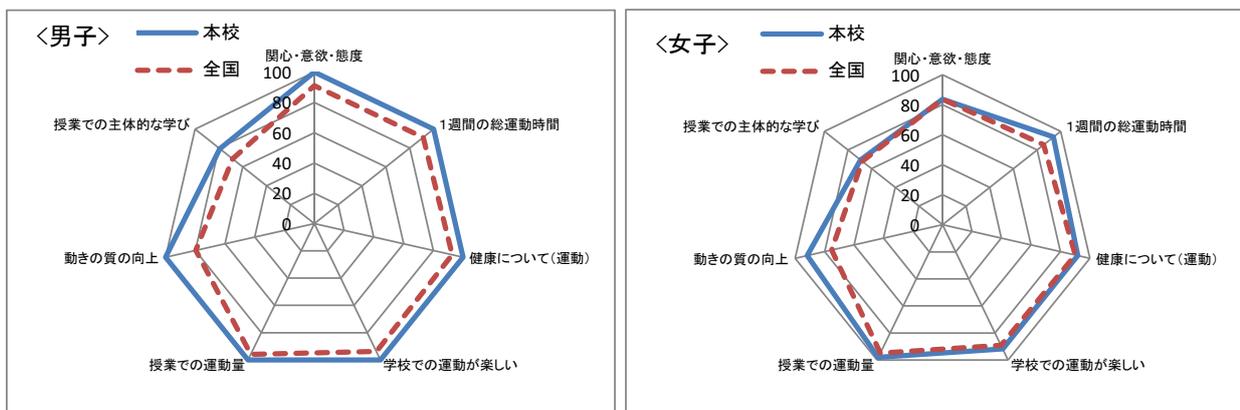
2. 本市における調査内容

- (1) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

○男女ともに全ての項目において、肯定的な回答をしている児童が全国平均と同等か上回っている。男女ともに、体育科の授業や日頃の運動に対して意欲的に取り組んでいることが分かる。
 ●質問内容の中では、「体力テストの結果や体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てている」という項目の肯定的回答率が低い。体育科の授業において、個人の目標設定を行う時間の確保や、目標に対する意識付けの工夫が必要であると考えられる。

4. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

○全体及び個人の目標設定を行い、授業展開する。(めあて・まとめ・ふりかえりカードの提示) ○体力アップのために学習内容に応じた体力向上プログラムを学年で取り組む。○新体力テストの結果を記録し、前学年との比較で個々の伸びや今後の目標を自覚できるようにする。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

○「元気はつらつタイム」(中休みに全校児童でキッズダンス、持久走、短縄、長縄を行う)に感染状況を考慮しながら可能な限り取り組む。令和元年度までは毎週水曜日の中休み15分間に全校児童で取り組んでいたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から昨年度より実施していない。